

令和4年度第2回

龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会

次 第

議案第1号 龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第四次)案
について

議案第2号 龍ヶ崎市教育委員会への答申について

龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第四次)案施策一覧

基本方針	施策項目		施策名	担当課
基本方針１　子どもの読書環境の整備・充実	１　読書サービスの充実	(１) 学校における取組み	学校図書館の蔵書内容の充実	教育総務課
		(２) 地域における取組み	市立図書館の蔵書内容の充実	市立図書館
			市立図書館の電子図書館の充実	市立図書館
			配慮や支援を必要とする子どもたちの図書の充実	つぼみ園 市立図書館
			市立図書館のレファレンスの強化	市立図書館
			中央図書館の赤ちゃんタイムの実施	市立図書館
	２　読書の契機づくり	(１) 学校における取組み	みんなにすすめたい一冊の本推進事業の実施	指導課
			読書指導	教育総務課 指導課
		(２) 地域における取組み	子育て支援センターにおける啓発活動	こども家庭課
			市立図書館におけるおはなし会の開催	市立図書館
			市立図書館における子ども向けイベントの開催	市立図書館
			市立図書館における児童図書の展示	市立図書館
	３　子どもの読書に関する大人への支援・育成	(１) 学校における取組み	教職員の理解の促進	指導課
			学校図書館司書の研修	教育総務課
		(２) 地域における取組み	プレパパ・プレママへの読書啓発	健康増進課 市立図書館
			市立図書館司書の研修	市立図書館
基本方針２　家庭・学校等・地域の連携			市立図書館団体貸出の実施と活用	市立図書館
			読み聞かせボランティアの活用・支援	教育総務課 市立図書館
			ブックスタートの実施	健康増進課 市立図書館
			市立図書館の出前講座の実施	文化・生涯学習課 市立図書館
基本方針３　子どもの読書活動に対する理解の促進			子ども読書の日，こどもの読書週間，読書週間の周知	つぼみ園 こども家庭課 指導課 市立図書館

令和 5 年 月
文化・生涯学習課

龍ヶ崎市 子ども読書活動推進計画

第四次案

龍ヶ崎市教育委員会

内容

第1章 計画の改訂について	1
1 計画の改定の背景と主旨について	1
2 計画の位置づけ	1
第2章 主な取組みと課題	2
1 第三次推進計画の数値目標達成状況	2
2 第三次推進計画の取組み	3
2-1 基本方針1 子どもの読書環境の整備・充実	3
2-2 基本方針2 家庭・学校等・地域の連携	5
2-3 基本方針3 子どもの読書活動に対する理解促進	6
第3章 子どもの読書についてのアンケート	7
1 アンケート実施の主旨	7
2 アンケートの対象と方法	7
3 アンケートの結果	8
3-1 読書を好む傾向	8
3-2 1ヶ月に読む本の冊数	9
3-3 本を読む理由	10
3-4 学校図書館の利用状況	11
3-5 市立図書館の利用状況	11
3-6 電子図書の利用状況	12
第4章 基本方針	14
1 第四次計画の基本方針	14
2 計画期間と対象	14

3 数値目標	14
第5章 推進のための方策	15
1 基本方針 1 子どもの読書環境の整備・充実	15
1-1 読書サービスの充実	15
1-2 読書の契機づくり	16
1-3 子どもの読書に関する大人への支援・育成	17
2 基本方針 2 家庭・学校等・地域の連携	18
3 基本方針 3 子どもの読書活動に対する理解促進	19
参考資料	20
1 読書についてのアンケート集計結果	20
2 龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例	34
3 子どもの読書活動の推進に関する法律	35

第 1 章 計画の改訂について

1 計画の改定の背景と主旨について

子どもの読書活動は、子どもがより深く人生を生きるために、言葉や感性、表現力、創造力を豊かにするうえで欠くことのできないものです。

急速な I T 化により、子どもたちの生活や学びの形が変化するなか、国においては、平成 13 年に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年 法律第 154 号）」をもとに、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、現在、第四次計画が進行中です。茨城県においては、平成 15 年に「いばらき子ども読書活動推進計画」が策定され、令和 4 年に第四次計画に改定されました。

本市では、平成 17 年に「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画」を策定後、二度の改訂を重ね、およそ 15 年間、子どもの読書活動推進に取り組んで来ました。今回、第三次計画期間が満了となり、上位計画である「龍ヶ崎市教育プラン」が改定されたことから、県の計画や新たな市の教育プランの内容を反映させ、子どもたちの読書活動を継続して推進していくために、第四次計画を策定いたします。

2 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」及び国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、「いばらき子ども読書活動推進計画（第四次推進計画）」に基づき、龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第三次）の実績を踏まえて策定します。

また、本市の最上位計画となる「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」及び本市の教育分野におけるマスタープランである「龍ヶ崎市教育プラン」との整合性を図ります。

第2章 主な取組みと課題

1 第三次推進計画の数値目標達成状況

第三次推進計画では、平成28年に実施した読書についてのアンケートに基づき、4項目の成果指標に数値目標を設定して読書活動を推進しました。

第三次推進計画の数値目標と達成状況

NO.	成果指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和3年度)	令和3年度 (実績)
1	「お子さんが読み聞かせしてもらうのが好き」と回答した保護者の割合※	94.8%	95%	95.1% 2歳児 97.9% 5歳児 95.5%
2	「週1回以上読み聞かせをしている」と回答した保護者の割合※	69.7%	77%	71.5% 2歳児 76.6% 5歳児 67.4%
3	「読書が好き」と回答した児童生徒の割合	84.0%	90%	79.6% 2年生 94.3% 5年生 75.8% 中学2年生 75.3% 高校2年生 72.1%
4	「1ヶ月に1冊以上本を読んでいる」と回答した児童生徒の割合	90.8%	91%	89.6% 2年生 97.7% 5年生 94.3% 中学2年生 93.2% 高校2年生 66.4%

成果指標1は目標を達成し、成果指標2は、基準値を上回ったものの目標値には到達しませんでした。また、成果指標3及び4については、全体としては基準値を下回る結果となりました。

※ 1歳6か月児健康診査、つばみ園保護者のアンケート結果含む

目標値に届かなかった指標については、本計画の課題の一つとして継続して取り組みます。

2 第三次推進計画の取組み

2-1 基本方針1 子どもの読書環境の整備・充実

(1) 児童図書の充実

□取組

- 全ての小中学校図書室は、公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書数を定めた学校図書館図書標準に示されている冊数を満たしています。また、市立図書館においては、毎年度、2,500冊程度の児童図書の購入を進めました。
- 市立図書館では、電子図書館により電子書籍閲覧サービスを提供しました。
- 市立図書館では、つぼみ園の療育のなかで使用する布絵本※やＬＬブック※、大型絵本等を購入し、つぼみ園へ団体貸出を行いました。

□課題

- ◆ 学校図書館・市立図書館では、資料が増えて書架の空きスペースが少なく、蔵書の増加は望めない状況です。今後は、蔵書内容の充実を図る必要があります。
- ◆ 気軽に読書を楽しむことができる電子図書館は、利用が増えつつあります。今後、充実を図ることで読書推進が期待されます。
- ◆ 一般書に比べ、児童向けの電子図書館用コンテンツは発行点数が少ないのが現状です。

(2) 子どもの読書に関する大人への支援・育成

□取組

- 教職員、学校図書館司書、市立図書館司書が研究や研修に参加し、スキルや資質の向上に努めました。

※ 布絵本 布でできた絵本。ファスナーやボタンを留めたり、紐を結んだりする仕掛けがあるものが多く、指の感覚の発達を促す効果があると言われている。

※ ＬＬブック 文字を読むことが苦手な障がいのある方などがやさしく理解できるよう、わかりやすい文や写真・絵・図などを用いて書かれている本

- 市立図書館では、図書館のおはなし会やブックスタート※に携わるボランティアに向けた研修会やワークショップ等を開催しました。

□課題

- ◆ 教学習環境や社会状況の変化に対応しながら、子どもが読書に向かい合うために、教職員、学校図書館司書、市立図書館司書が、今後も継続的にして資質の向上を図るとともに、相互の情報交換の機会が必要です。
- ◆ 市立図書館におけるおはなし会やブックスタートを継続的に実施していくために、ボランティアの確保に留意する必要があります。

(3) 読書サービスの強化

□取組

- 市立図書館では、赤ちゃんと保護者が気軽に図書館を利用できるよう、赤ちゃんタイムの取組みを進めました。
- 小中学校では、夏休みなどの休業前に貸出冊数の増冊を行いました。また、夏休み期間中の一定期間、図書館を開放しました。
- 市立図書館では、夏休み期間に、児童コーナーに子ども用レファレンス※コーナーを設けました。
- 市立図書館では、パスファインダー※を作成して小中学校へ配布しました。

□課題

- ◆ 今後も、学校や市立図書館において、子どもが本を読む機会や本を活用できるようなツールづくりが必要です。

(4) 読書の契機づくり～子どもの読書を推進するイベントの開催～

□取組

- 小中学校や幼稚園・保育園（所）・認定こども園・市立図書館、子育て支援センターの各施設において、教職員や学校図書館司書、市立図書館司書、学校の

※ ブックスタート	乳幼児とその保護者に絵本をプレゼントし、親子で絵本を楽しむ機会を提供する活動
※ レファレンス	図書館利用者が調査・研究するための資料や情報を求めた際に、図書館が調査方法や参考文献を案内するなどのサポートを行うこと
※ パスファインダー	特定のテーマに関する本や資料、Webサイトなど、調査に必要な時用法や探し方を紹介するツール

委員会活動における図書委員、地域ボランティア等により読み聞かせやおはなし会を開催しました。

- 市立図書館とさんさん館子育て支援センターにおいて、子どもを対象とした読書啓発イベントを開催しました。
- 小中学校において、「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業に取り組みました。
- 小中学校、市立図書館においてイベントや季節などのテーマに合わせた児童書の展示を行いました。
- 市立図書館では、貸出サービスポイントであるコミュニティセンター図書室へ利用者の予約本やリクエスト本を搬送しました。

□課題

- ◆ コミュニティセンター図書室は子どもの利用が少なく、子どもの読書活動に特化した取組は難しい状況です。
- ◆ 今後も、学校や市立図書館において子どもが本に出合う工夫が必要です。

2-2 基本方針2 家庭・学校等・地域の連携

(1) 家庭・学校等・地域における推進のための連携

□取組

- プレパパ・ママ向けに、おすすめ図書を紹介するパンフレットを作成し、母子健康手帳交付時や市立図書館で開催するイベント等で配布しました。
- 保健センターの3~4か月児健康診査でブックスタートを実施しました。
- 市立図書館において家読（うちどく）※キャンペーンを実施しました。
- 各小中学校で図書館だよりを発行し、児童生徒や保護者へおすすめ本や人気の本を紹介しました。
- 市立図書館では、学校・幼稚園等に図書館だよりや新刊案内を配布し、利用案内やイベントの案内や本の紹介を行いました。
- 小中学校や市立図書館では、スタンプラリーなどのキャンペーンを実施し、子どもが楽しみながら読書に取り組む機会を作りました。

※ 家読（うちどく） 家庭での読書を通じて家族のコミュニケーションを図る取組み

- 市立図書館では、小中学校・学童保育ルーム・幼稚園・つぼみ園へ団体貸出を実施し、学童保育ルームへは、司書がおすすめの本を選書し、小中学校とつぼみ園へは、要望に合わせて授業や療育等に必要な本を選び、配送を行いました。
- 市立図書館では、学校図書館司書や地域の読み聞かせボランティアを対象に研修会を開催しました。
- 市立図書館では、学校やつぼみ園から寄せられた、授業や療育に必要な本のリクエストに応じて本の購入を進めました。

□課題

- ◆ 今後も子どもが利用する施設が連携し、情報を共有しながら子どもが本に出合う工夫を行う必要があります。

2-3 基本方針3 子どもの読書活動に対する理解促進

(1) ホームページやSNSを活用した情報発信の充実

□取組

- 小中学校や市立図書館では、子ども読書の日やこどもの読書週間について、ポスターの掲示、図書館だよりでの紹介やホームページへの掲載、こども読書週間に合わせたイベント開催などにより周知しました。
- 各施設内は、児童生徒や利用者に向けて、図書館だよりやホームページ、ブログやTwitterで読書推進の取組みを紹介しました。

□課題

- 子どもの読書活動推進の取組みを紹介するだけでなく、子どもと大人の区別なく、読書の楽しさや利便性等を理解するために、広い世代へ向けた読書活動推進の取組みが必要です。

第3章 子どもの読書についてのアンケート

1 アンケート実施の主旨

平成29年度より5年間、第三次計画により推進してきた成果を検証するとともに、本市の子どもの読書の現状を把握して、第四次計画の基礎データとするためにアンケートを実施しました。

2 アンケートの対象と方法

平成28年度に実施した前回のアンケート結果と比較しながら現状把握を行うため、前回と同じ年代を対象としてアンケートを実施しました。

ただし、2歳6か月児対象の乳幼児健診は、委託医療機関の実施に変更されたことから、1歳6か月児の保護者にアンケートを実施しました。

調査方法については、新型コロナウイルス感染症が拡大している中での調査であり、小中学校で1人1台の学習用端末が整備されたことや、一般的にスマートフォン等が普及していることを踏まえ、webアンケートを取り入れました。しかし、保護者の回答率は10～20%と伸びず、実施機関においてweb回答の状況を把握することができなかったために、未回答者への働きかけが難しかったことが原因の一つと考えられます。

アンケート対象者・回収率

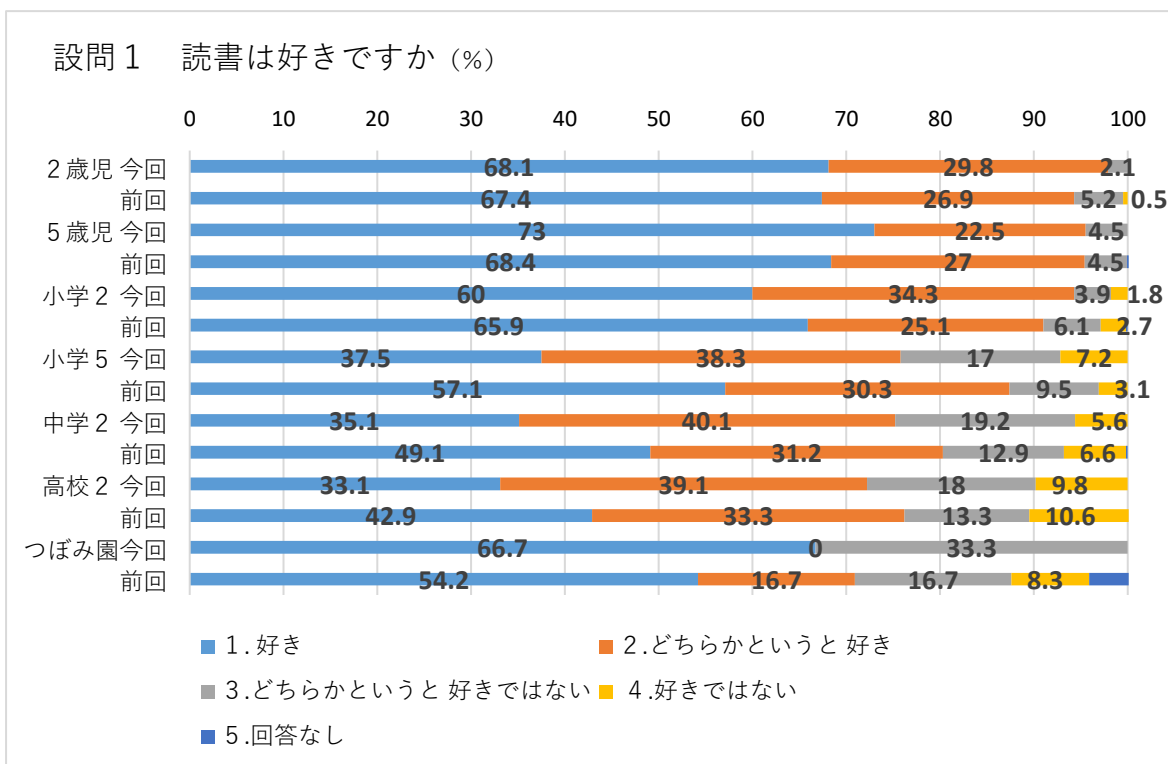
	対象者	対象数	回答数	回答率
児童生徒	小学校2年生	521	487	93.5%
	小学校5年生	571	528	92.5%
	中学校2年生	684	558	81.6%
	市内県立高等学校2年生	470	366	77.9%
保護者	2歳児	277	47	17.0%
	5歳児	502	89	17.7%
	つぼみ園未就学	25	3	12.0%
	1歳6か月児健康診査受診者	40	5	12.5%

備考

- ・ 2 歳児 市内保育園（所）・認定こども園
- ・ 5 歳児 幼稚園・市内保育園（所）・認定こども園
- ・ こども発達センターつばみ園未就学児 上記の 2 歳児・5 歳児を除く
- ・ 1 歳 6 か月児健康診査受診者

3 アンケートの結果

3-1 読書を好む傾向



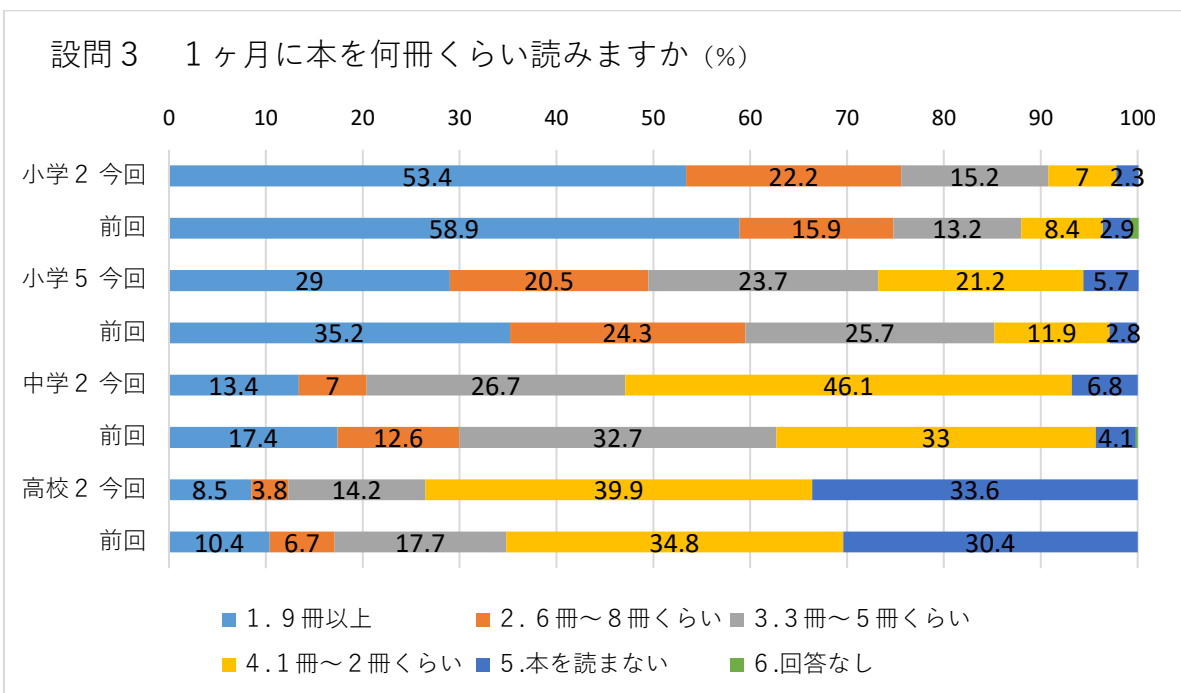
設問に対し、読書（読み聞かせ）が「好き」・「どちらかというとき好き」の割合は、それぞれ 2 歳児 97.9%、5 歳児 95.5%、小学校 2 年生 94.3%・5 年生 75.8%、中学 2 年生 75.3%、高校 2 年生 72.1%、つばみ園通所児 66.7%でした。2 歳児、5 歳児、小学校 2 年生は前回より読書を好む傾向が高く、小学校 5 年生、中学校 2 年生、高校 2 年生、つばみ園通所児は低くなっています。

全国的な子どもの読書活動の調査は、平成 27 年に文部科学省が外部機関に委託して実施した調査以降、公的には実施されていないと思われませんが、ニフティ（株）が自社

サイト「ニフティキッズ」で実施した「読書に関するアンケート調査」では、同サイトを訪問した 1,565 人のうち、小中学生の 90%が「本（マンガ以外）を読むのは好き」と回答しています（令和 3 年 10 月 27 日公表）。また、令和 2 年に（公財）日本財団が「読む・書くことについて」をテーマに 17 歳～19 歳の 1,000 人に実施した「18 歳意識調査」において、「読書が好き」と答えたのは 59.7%であったという報告があります。

いずれも、当市が実施したアンケートより幅広い年齢で実施した調査結果ですが、参考までに比較してみると、小中学校生が低く※、高校生が高くなっています。

3-2 1ヶ月に読む本の冊数



1ヶ月に1冊以上本を読む児童生徒は、小学2年生が97.7%、小学校5年生が94.3%、中学校2年生が93.2%、高校2年生が66.4%で、学年が高くなると読書冊数が減少する傾向にあります。

（公社）全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で毎年度実施している「学校読書調査」によりますと、2022年の不読者（2022年5月の1ヶ月間に本を読まなかったと回答した児童・生徒）の割合は、小学生4～6年生が6.4%、中学生が18.6%、高

※ 小学2年生・5年生, 中学2年生の「好き」・「どちらかという好き」の回答を合わせた割合は 84.6%

校生が 51.1%でした。当市の不読率は全体的に全国平均と比較して低く、読書活動が活発であると考えられます。

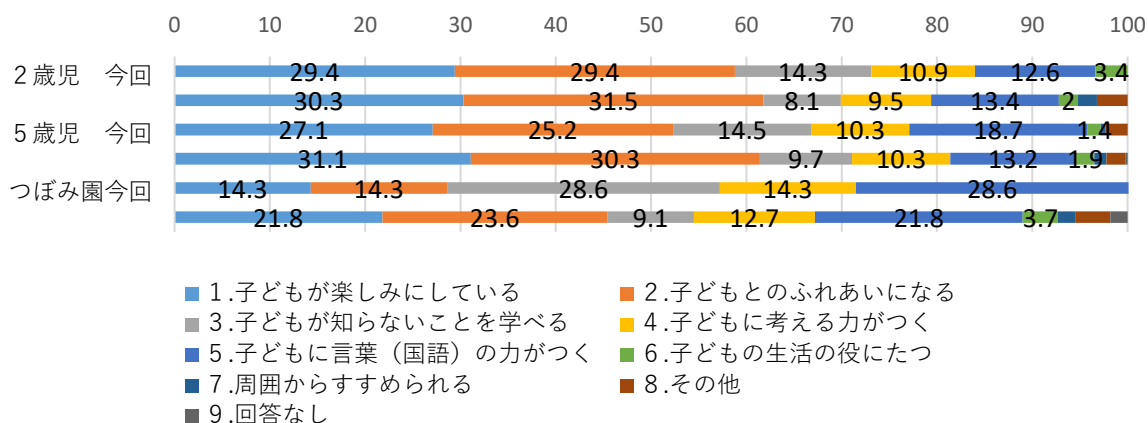
3-3 本を読む理由

前回調査に引き続き、「子どもが楽しみにしている」「子どもとのふれあいになる」と回答する保護者が多く、家庭で、読み聞かせを通じた子どもとのふれあいを大切にしていることがうかがわれます。

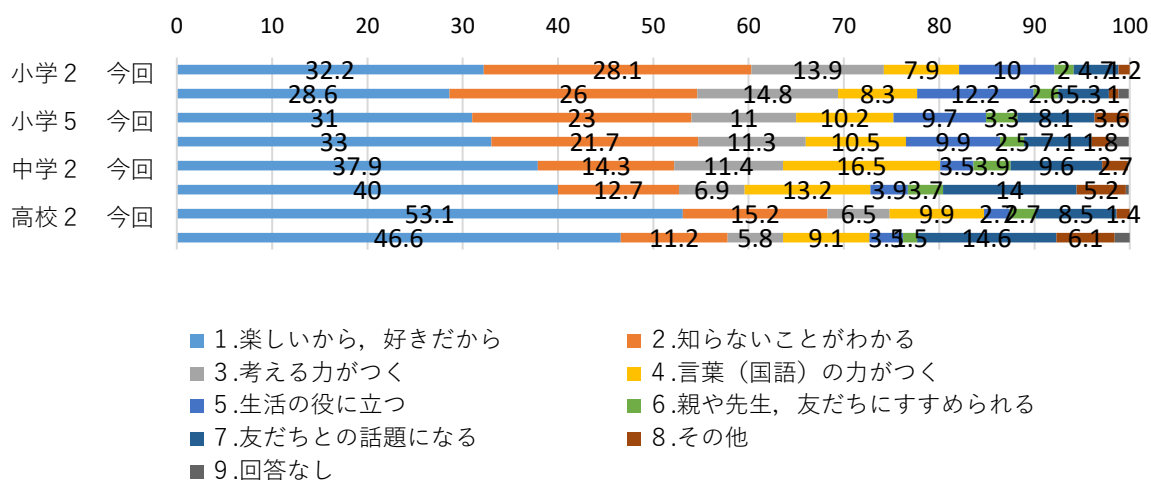
また、つばみ園通所児では、読み聞かせにより、知らないことを学べる、言葉の力がつくという理由が多くなっています。

児童生徒では、「楽しいから、好きだから」次に「知らないことがわかる」の順に回答が多く、知的好奇心から読書をする子どもが多くいることがうかがわれます。

設問 5-1 ご家庭で読み聞かせをするのはどうしてですか (%) (保護者)

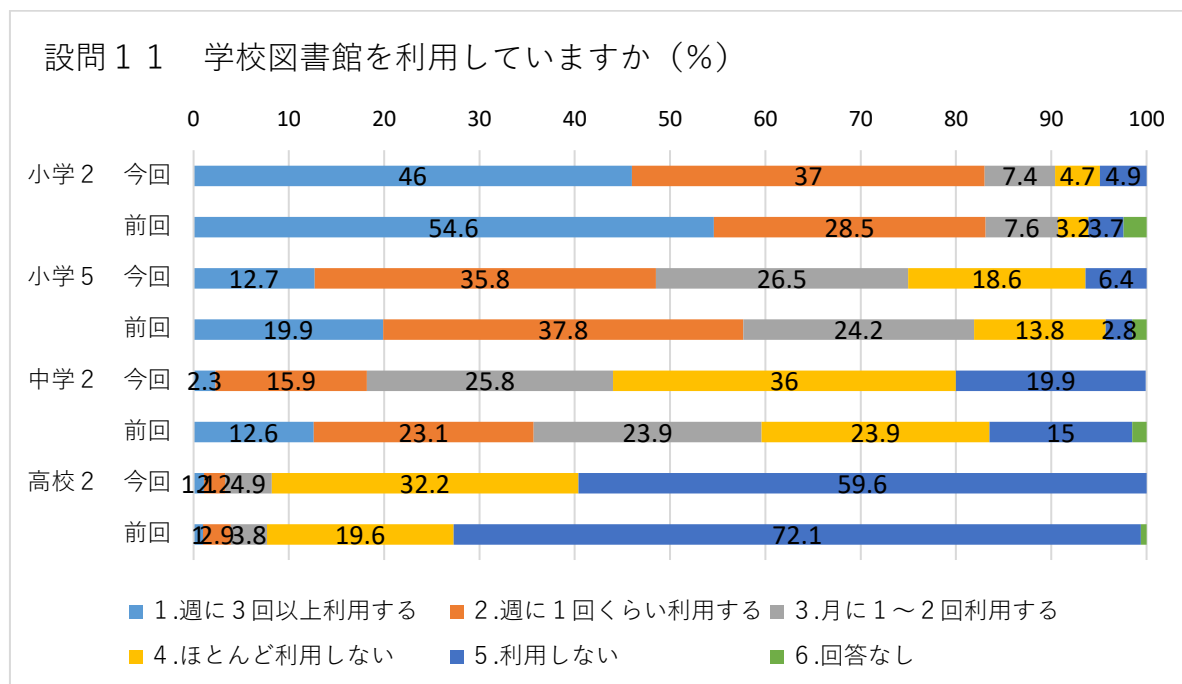


設問 5-2 読書をするのはどうしてですか (児童生徒) (%)



3-4 学校図書館の利用状況

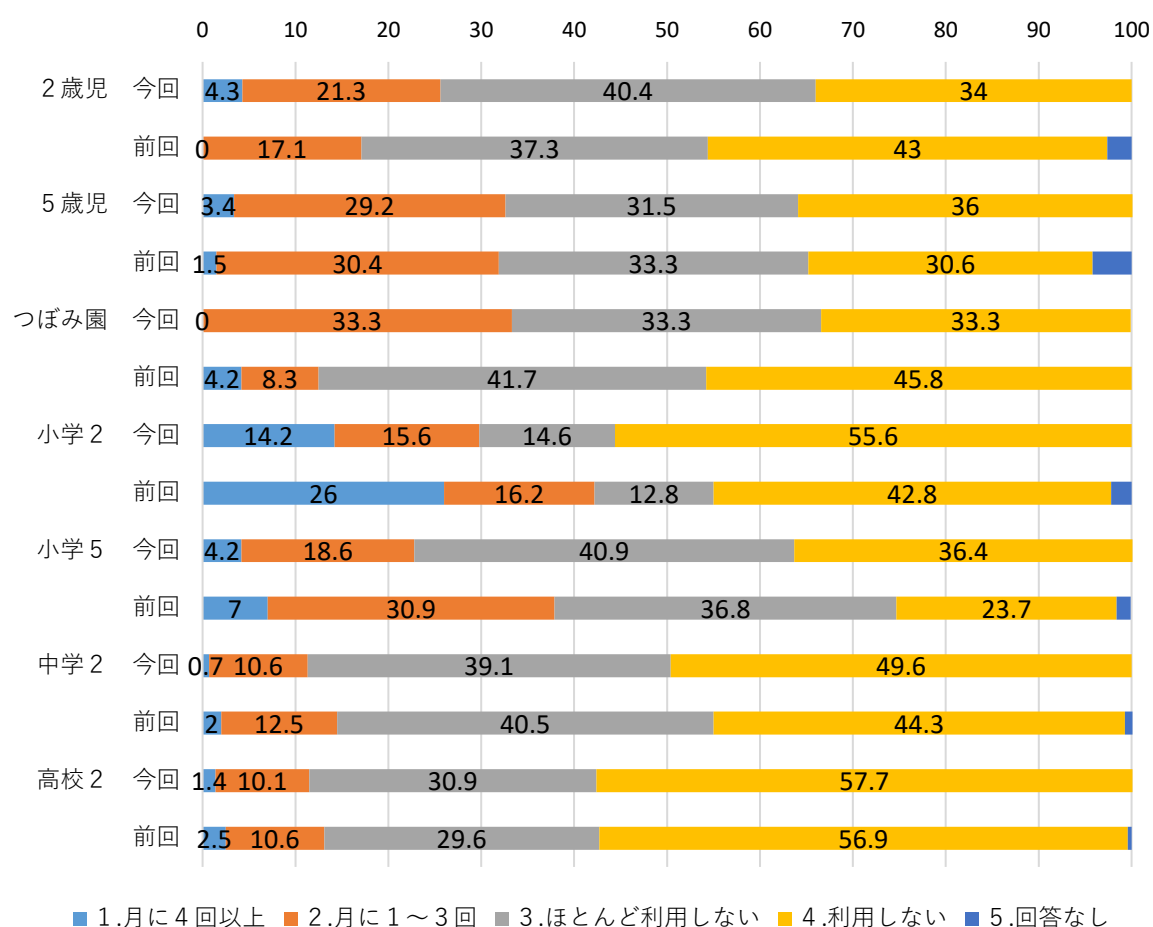
全体的に、前回より「ほとんど利用しない」、「利用しない」の回答が増えています。新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、休校や短縮授業等を行っていた影響が考えられます。



3-5 市立図書館の利用状況

新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、休館や開館時間短縮を行っていた影響が考えられますが、全体的に、市立図書館やコミュニティセンター図書室がよく利用されているとは言えません。一方、本の貸出期間を4週間に延長している状況において、2歳児保護者の4.3%、小学校2年生の14.2%が月に4回以上市立図書館やコミュニティセンター図書室を訪れていて、外出を控えて家で過ごす手段として、読書が取り入れられていた可能性があると考えられます。

設問 1 2 市立図書館やコミュニティセンター図書室を利用していますか (%)

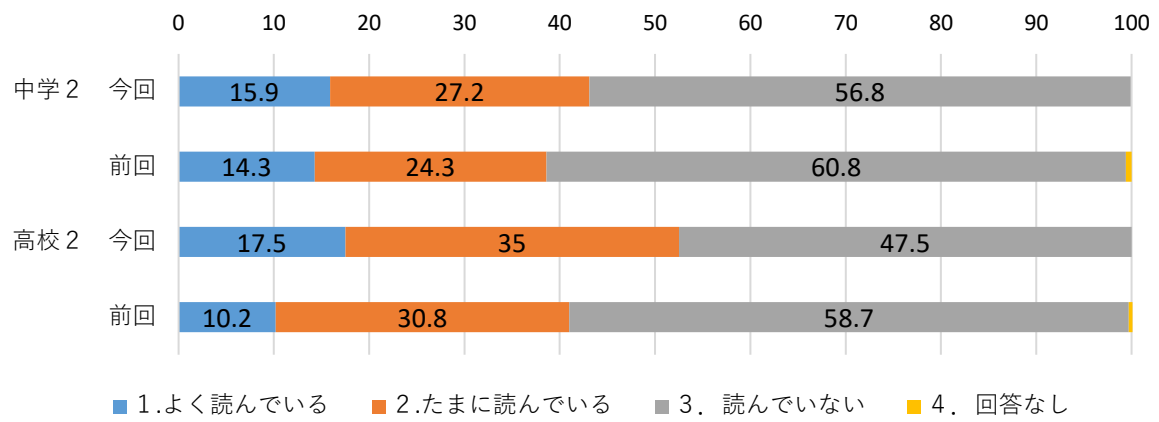


3-6 電子図書の利用状況

前述（9頁）の「学校読書調査」では、電子図書を読んだことがあると回答した生徒は、中学生が52.8%、高校生が61.0%でした。本調査で、電子図書を読んでいると回答した生徒は、前回より増加して全体の5割程度であり、同様の結果となっています。

また、設問6番「本を読むときはどうしていますか」における「その他」の回答として、「スマホやインターネットで読む」という回答が目立つことから、今後、中学生や高校生の間で電子図書の利用が多くなることが予想されます。

設問 1 6 電子図書を読んでいますか【生徒のみ】 (%)



第4章 基本方針

1 第四次計画の基本方針

本計画は、第三次推進計画の基本方針を踏襲し、児童生徒や保護者のアンケート結果を踏まえ、今までの取組みを効果的に取り入れることで、長期的な視点で子どもの読書活動を推進します。

第四次推進計画の基本方針

基本方針	1	子どもの読書環境の整備・充実
基本方針	2	家庭・学校等・地域の連携
基本方針	3	子どもの読書活動に対する理解の促進

2 計画期間と対象

計画期間は、教育プランとの整合を図り、令和5年度から令和12年度までの8年間とし、中間年度に見直しを行います。また、計画の対象は、0歳からおおむね18歳までとします。

3 数値目標

計画を推進するにあたり、第三次推進計画の指標を継承し、アンケート結果を基に数値目標を設定します。

指標4については、小中学生と高校生ではアンケート値に開きがありました。高校生に対する取組みの成果を明確にしていくため、対象別の目標値を設定しました。

第四次推進計画の数値目標

NO.	成果指標	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和10年度)
1	「お子さんが読み聞かせしてもらうのが好き」と回答した保護者の割合	95.1%	96%
2	「週1回以上読み聞かせをしている」と回答した保護者の割合	71.5%	77%
3	「読書が好き」と回答した児童生徒の割合	79.6%	85%
4	「1ヶ月に1冊以上本を読んでいる」と回答した児童生徒の割合	89.6% 小中学生 95.0% 高校生 66.4%	小中学生 96% 高校生 68%

第5章 推進のための方策

子どもを取り巻く環境は、インターネットの普及や、新型コロナウイルス感染症拡大への対応など、大きく変化を続けています。

また、アンケートでは、読書をしない理由として「時間がない」という回答が前回から引き続き多いことから、読書を日常生活に取り入れられない現状が伺われます。

第四次計画では、読書の楽しさを伝えるだけでなく、継続して読書に向き合うために、短い時間を活用した読書や、インターネットを上手に取り入れた新しい読書の楽しみ方を視野に入れて、子どもたちの読書環境の整備を行います。

1 基本方針 1 子どもの読書環境の整備・充実

1-1 読書サービスの充実

(1) 学校における取組み

■ 学校図書館の蔵書内容の充実 (教育総務課)

学習課題に応じられる本を整備するとともに、茨城県や(公社)全国学校図書館協議会等の推薦図書を参考にし、児童生徒のリクエストや図書委員会の意見を取り入れる等、子どもの多様な興味や関心に対応していきます。

また、学校図書館ガイドラインに基づき、児童生徒の発達段階に応じて、新聞を教育に活用するために新聞の複数紙配備に努めます。

(2) 地域における取組み

■ 市立図書館の蔵書内容の充実 (市立図書館)

読書習慣を身に付ける契機となるよう優良図書の購入に努め、蔵書の充実を図ります。

配慮が必要な子どもの読書を推進するため、LLブック、布の絵本、さわる絵本等の購入を進めます。

また、必要に応じて、相互貸借を活用していきます。

■ 市立図書館の電子図書館の充実 （市立図書館）

中高生向けの電子書籍を積極的に受け入れるとともに、電子図書館の案内を行います。

■ 配慮や支援を必要とする子どもたちの図書の充実

（つぼみ園・市立図書館）

つぼみ園と中央図書館が、障がいの状況に応じた絵本を選書して、園の療育に必要な本や図書館で貸出する本の収集を行います。

■ 市立図書館のレファレンスの強化 （市立図書館）

子どもが興味ある本と出合う機会を提供するために、レファレンスサービスを強化します。

また、レファレンス事例を分析して、児童サービスや図書の購入に反映します。

■ 中央図書館の赤ちゃんタイムの実施 （市立図書館）

保護者と子どもが気兼ねなく会話や読み聞かせを楽しむことができる、赤ちゃんタイムを実施します。

また、子育て情報の提供や保護者が参加するイベントを開催するなど、保護者同士の情報交換の場として活用します。

1-2 読書の契機づくり

（1）学校における取組み

■ みんなにすすめたい一冊の本推進事業の実施 （指導課）

茨城県が、学校や家庭において読書活動を推進し、国語力の育成と心の教育の充実を図ることを目的に実施している本事業を活用して、各学校において多読者の表彰を行います。

■ 読書指導 （教育総務課・指導課）

各学校では、教科等の指導と関連する読書指導を行うとともに、読書の楽しさを味わえるよう、学校図書館蔵書などの推薦図書の紹介を行って、読書活動の推進を図ります。

（２）地域における

■ 子育て支援センターにおける啓発活動 （こども家庭課）

さんさん館子育て支援センターで、おはなし会を定期的に行い、絵本の紹介や読み聞かせの楽しさを伝えます。

■ 市立図書館におけるおはなし会の開催 （市立図書館）

子どもの発達段階に合わせ、おはなし会を定期的に行います。また、図書館で実施する子ども向けイベント等において、イベント内容にあったおはなし会を開催します。

■ 市立図書館における子ども向けイベントの開催 （市立図書館）

子どもの読書や図書館利用に結びつくような内容で、講座やイベントを開催します。

■ 市立図書館における児童図書の展示 （市立図書館）

季節や行事、開催するイベントに合わせて児童図書の展示を行います。また、ホームページや SNS を活用して、青少年を含む子ども向けの本、子育て中の保護者向けの本を紹介します。

1－3 子どもの読書に関する大人への支援・育成

（１）学校における取り組み

■ 教職員の理解の促進 （指導課）

子どもの読書活動や学校図書館に関する国や県の方針等を理解し、効果的に読書指導を行うために、全教職員に対して校内研修等を実施します。

■ 学校図書館司書の研修 （教育総務課）

市立小中学校に学校図書館司書（会計年度任用職員）を配置し、資質向上を図るため、学校図書館の運営に関する情報交換や研修を実施します。

(2) 地域における取組み

■ プレパパ・プレママへの読書啓発 (健康増進課・市立図書館)

健康増進課と中央図書館が、マタニティライフに役立つ本のリストや、絵本を読む効果などを記載した読書案内を作成し、母子健康手帳の交付時などに配布します。

■ 市立図書館司書の研修 (市立図書館)

茨城県図書館協会、同県内地区部会、(公社)日本図書館協会等が主催する研修会に参加します。

また、児童サービスの専門知識、子どもへの接遇スキルなどの向上を図るため、図書館内部で研修を行います。

2 基本方針 2 家庭・学校等・地域の連携

■ 市立図書館団体貸出の実施と活用 (市立図書館)

市立図書館では、市内の学校・幼稚園・保育園(所)・認定こども園・つばみ園・学童保育ルーム等へ団体貸出を実施します。

また、学校等では、子どもが本に出合う機会を提供するために、積極的に団体貸出を活用します。

■ 読み聞かせボランティアの活用・支援 (教育総務課・市立図書館)

学校では、読み聞かせを行う保護者や地域のボランティアの参加しやすい環境づくりに努めます。

市立図書館では、おはなし会やブックスタートで読み聞かせ等を行う地域のボランティアを活用するとともに、読み聞かせ方法や読み聞かせに向けた本の選書等についてアドバイスや研修を実施し、活動を支援します。

■ ブックスタートの実施 (健康増進課・市立図書館)

保健センターで実施する3～4か月児健康診査において、ブックスタートを実施し、親子等で絵本を読むことで生まれる親子のふれあいの大切さについて伝えます。

■ 市立図書館の出前講座の実施 （文化・生涯学習課・市立図書館）

小中学校等へ市立図書館の職員が出向き、本を読む楽しさを伝えながら、学習・生活に役立つ本の紹介、図書館や本の利用方法について、説明を行います。

3 基本方針 3 子どもの読書活動に対する理解促進

■ 子ども読書の日、こどもの読書週間、読書週間の周知

（つばみ園・こども家庭課・指導課・市立図書館）

学校・図書館等で、子ども読書の日、こどもの読書週間、読書週間のそれぞれの趣旨に沿った事業を行い、ホームページや SNS 等で情報を提供します。

参考資料

1 読書についてのアンケート集計結果



1 アンケート実施期間 令和3年11月26日～12月10日 15日間

2 アンケート実施対象及び回収率

対象者		配布数	回収数	回収率
児童生徒	小学校2年生	521	487	93.5%
	小学校5年生	571	528	92.5%
	中学校2年生	684	558	81.6%
	市内県立高校2年生	470	366	77.9%
保護者	2歳児 ・市内保育園(所)全10園 ・認定こども園全4園	277	47	17.0%
	5歳児 ・市内幼稚園全4園 ・保育園(所)全10園 ・認定こども園全4園	502	89	17.7%
	つばみ園未就学児 (2歳児、5歳児を除く)	25	3	12.0%
	保健センターにおける1歳6か月 児健診受診児※11月22日、12 月7日実施 (市内幼稚園、保育園(所)に通 園(所)している園児等は除く)	40	5	12.5%

※小中学校の配布数は、令和3年11月1日現在の児童生徒数による。

※高校の配布数は、各高校令和3年度学校経営計画表による。

※市内幼稚園・保育園(所)・認定こども園の配布数は、こども家庭課調べによる。

※集計は、小数点以下2桁目を四捨五入して計算しているため、合計は100%から＋－1%の誤差がある場合があります。

3 集計結果

1 読書は好きですか（お子さんは、読み聞かせが好きですか）

(%)

対象	実施回	1. 好き	2. どちらかという 好き	3. どちらか という と 好 き ではない	4. 好きで はない	5. 回答な し
2歳児	今回	68.1	29.8	2.1	0.0	
	前回	67.4	26.9	5.2	0.5	0.0
5歳児	今回	73.0	22.5	4.5	0.0	
	前回	68.4	27.0	4.5	0.0	0.2
小学校 2年生	今回	60.0	34.3	3.9	1.8	
	前回	65.9	25.1	6.1	2.7	0.2
小学校 5年生	今回	37.5	38.3	17.0	7.2	
	前回	57.1	30.3	9.5	3.1	0.0
中学校 2年生	今回	35.1	40.1	19.2	5.6	
	前回	49.1	31.2	12.9	6.6	0.2
高校 2年生	今回	33.1	39.1	18.0	9.8	
	前回	42.9	33.3	13.3	10.6	0.0
つぼみ園 児	今回	66.7	0.0	33.3	0.0	
	前回	54.2	16.7	16.7	8.3	4.2

- ◆ 2歳児・5歳児・小学校2年生の読書（読み聞かせ）が「好き」・「どちらかという と 好き」の割合は前回より多く、読書を好む傾向が高い。
- ◆ その他、児童生徒は、前回よりも読書が好きな割合が低く、学年が高くなるほどその傾向が強い。特に、「どちらかという と 好きではない」・「好きではない」と回答した小学校5年生の割合が増えている。

2 読書は大切だと思いますか

(%)

対象	実施回	1. 思う	2. 少し思 う	3. あまり思 わない	4. 思わな い	5. 回答な し
2歳児	今回	95.7	0.0	4.3	0.0	
	前回	87.6	9.3	1.0	0.0	2.1
5歳児	今回	93.3	6.7	0.0	0.0	
	前回	90.4	8.7	0.2	0.0	0.6
小学校2 年生	今回	80.3	17.9	1.6	0.2	
	前回	81.3	14.5	2.5	1.2	0.5
小学校5 年生	今回	53.4	34.1	9.8	2.7	
	前回	66.3	26.6	4.7	2.1	0.2
中学校2 年生	今回	56.1	34.9	7.3	1.6	
	前回	56.6	32.6	7.8	2.6	0.5
高校 2年生	今回	54.9	34.2	7.4	3.6	
	前回	54.0	35.4	6.9	3.3	0.4

つぼみ園児	今回	100.0	0.0	0.0	0.0	
	前回	95.8	0.0	0.0	0.0	4.2

- ◆ 読書が大切だと「思う」、「少し思う」の割合が全体で 93.3%と、読書を大切だと認識する傾向が高い。
- ◆ 5歳児保護者が、読書は大切だと認識する割合が最も高い。
- ◆ 学年が高くなると、読書を大切だと「思う」、「少し思う」の割合が低下し、「あまり思わない」、「思わない」の割合が高くなる。

3 1ヶ月に本を何冊くらい読みますか（どれくらい読み聞かせをしていますか）

対象	実施回	(%)						
		1.毎日	2.週に3～5回くらい	3.週に1～2回くらい	4.月に1～2回くらい	5.年に数回	6.読み聞かせをしていない	7.回答なし
2歳児	今回	27.7	25.5	23.4	17.0	6.4	0.0	
	前回	17.1	28.0	41.5	7.8	2.6	3.1	0.0
5歳児	今回	16.9	22.5	28.1	16.9	11.2	4.5	
	前回	10.4	21.4	30.4	24.0	8.5	5.1	0.2
つぼみ園児	今回	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	
	前回	29.2	25.0	29.2	4.2	8.3	0.0	4.2

対象	実施回	(%)					
		1.9冊以上	2.6冊～8冊くらい	3.3冊～5冊くらい	4.1冊～2冊くらい	5.本を読まない	6.回答なし
小学校2年生	今回	53.4	22.2	15.2	7.0	2.3	
	前回	58.9	15.9	13.2	8.4	2.9	0.8
小学校5年生	今回	29.0	20.5	23.7	21.2	5.7	
	前回	35.2	24.3	25.7	11.9	2.8	0.0
中学校2年生	今回	13.4	7.0	26.7	46.1	6.8	
	前回	17.4	12.6	32.7	33.0	4.1	0.2
高校2年生	今回	8.5	3.8	14.2	39.9	33.6	
	前回	10.4	6.7	17.7	34.8	30.4	0.0

- ◆ 読み聞かせの回数は、2歳児・5歳児の保護者で「毎日」の回答が前回よりも高くなり、「読み聞かせをしない」割合が低くなり、2歳児で読み聞かせをしていないという回答はなかった。一方、つぼみ園では、その反対の傾向が見られる。
- ◆ 児童生徒は、前回と同様、学年が高くなると読書冊数が減少する傾向にある。

4 どんな本を、よく読みますか（ご家庭でどんな本を読み聞かせていますか）

※質問3で、「読み聞かせをしていない」「本を読まない」以外の回答をした方対象、3つまで回答選択可

(%)

対象	実施回	1.童話や物語	2.伝記や歴史	3.科学の本	4.図鑑	5.スポーツ	6.絵本	8.その他	9.回答なし
2歳児	今回	24.4	0.0	1.1	24.4	0.0	47.8	2.2	
	前回	29.0	0.0	0.3	14.3	0.0	53.7	2.3	0.3
5歳児	今回	33.9	1.8	3.6	14.3	0.0	44.0	2.4	
	前回	37.1	1.1	3.1	12.3	0.1	44.8	1.3	0.2
つぼみ園児	今回	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	
	前回	28.2	2.6	0.0	20.5	0.0	46.2	0.0	2.6

(%)

対象	実施回	1.小説や物語	2.伝記や歴史	3.科学の本	4.図鑑	5.スポーツ	6.趣味やまんが	7.絵本	8.その他	9.回答なし
小学校2年生	今回	13.8	7.9	12.1	13.3	6.3	14.5	26.2	5.9	
	前回	15.3	9.5	13.8	11.7	7.3	16.2	18.7	7.3	0.3
小学校5年生	今回	30.8	11.2	5.8	6.7	5.3	28.4	8.2	3.6	
	前回	30.3	13.9	6.9	4.4	8.4	28.3	5.7	2.0	0.2
中学校2年生	今回	46.7	4.8	3.7	2.1	6.6	31.4	1.1	3.7	
	前回	44.9	5.4	3.4	1.3	7.5	34.1	1.3	2.1	0.0
高校2年生	今回	41.2	4.0	1.9	2.3	4.2	41.9	1.6	3.0	
	前回	39.4	5.2	2.2	1.3	4.6	45.2	0.3	1.7	0.0

○その他の主な回答

2歳児	こどもちゃれんじ（Benesse）・ちいさなかがくのとも（福音館書店月刊誌）・好きなキャラクターの本・工作の本
5歳児	子どもの頭と心を育てる100のおはなし（宝島社）・英語の本・電車の図鑑・幼稚園でもらう毎月の本
小学校2年生、5年生	音楽・料理の本・教科書に載っている本・雑誌・迷路やなぞなぞ、クイズ・サバイバル※
中学校2年生	エッセイ・ライトノベル・哲学・雑誌・英語・投資・ビジネス書・評論・文豪の本
高校2年生	エッセイ・ライトノベル・雑誌・心理学・自己啓発

※1 科学漫画サバイバルシリーズ（朝日新聞出版）

- ◆ 前回到引き続いて幼児等では絵本の読み聞かせが多く、童話や物語などストーリー性のあるものも好まれている。
- ◆ 2歳児・5歳児では、こどもちゃれんじやちいさなかがくのとも、幼稚園で毎月もらう本など、定期購読を利用している保護者が少なからずいる。
- ◆ 児童生徒全体では、小説や物語、趣味やまんがという回答が多い。

5 読書（ご家庭で読み聞かせ）をするのはどうしてですか

※質問3で「読み聞かせをしていない」「本を読まない」以外の回答をした方対象（3つまで選択可能）

(%)

対象	実施回	1.子どもが楽しみにしている	2.子どもとのふれあいになる	3.子どもが知らないことを学べる	4.子どもに考える力がつく	5.子どもに言葉（国語）の力がつく	6.子どもの生活の役にたつ	7.周囲からすすめられる	8.その他	9.回答なし
2歳児	今回	29.4	29.4	14.3	10.9	12.6	3.4	0.0	0.0	
	前回	30.3	31.5	8.1	9.5	13.4	2.0	2.0	3.2	0.0
5歳児	今回	27.1	25.2	14.5	10.3	18.7	1.4	0.5	2.3	
	前回	31.1	30.3	9.7	10.3	13.2	1.9	1.3	2.0	0.2
つぼみ園児	今回	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	
	前回	21.8	23.6	9.1	12.7	21.8	3.7	1.8	3.7	1.8

(%)

対象	実施回	1.楽しいから、好きだから	2.知らないことがわかる	3.考える力がつく	4.言葉（国語）の力がつく	5.生活の役に立つ	6.親や先生、友だちにすすめられる	7.友だちとの話題になる	8.その他	9.回答なし
小学校2年生	今回	32.2	28.1	13.9	7.9	10.0	2.0	4.7	1.2	
	前回	28.6	26.0	14.8	8.3	12.2	2.6	5.3	1.0	1.1
小学校5年生	今回	31.0	23.0	11.0	10.2	9.7	3.3	8.1	3.6	
	前回	33.0	21.7	11.3	10.5	9.9	2.5	7.1	1.8	2.1
中学校2年生	今回	37.9	14.3	11.4	16.5	3.5	3.9	9.6	2.7	
	前回	40.0	12.7	6.9	13.2	3.9	3.7	14.0	5.2	0.3
高校2年生	今回	53.1	15.2	6.5	9.9	2.7	2.7	8.5	1.4	
	前回	46.6	11.2	5.8	9.1	3.5	1.5	14.6	6.1	1.6

○その他の主な回答

2歳児、5歳児	子どもが読んでほしいと言うので 親が知らないこともあるので読んでいて楽しい 自分が（保護者）が本が好き
小学校2年生、5年生	いろいろな言葉が分かるから 集中力が上がるから 趣味 読む力がつくから 冒険が好きだから 暇つぶし
中学校2年生	朝読の時間があるから 落ち着けるから

高校2年生	新しい考え方を知ることが出来る 生きるため 長文を速く読めるようになる
-------	---

- ◆ 幼児等では、「子どもが楽しみにしている」「子どもとのふれあいになる」と回答する保護者が多かった。
- ◆ 児童生徒では、「楽しいから、好きだから」次に「知らないことがわかる」の順に回答が多く、知的好奇心から読書をする子どもが多くいることがうかがわれる。
- ◆ その他では、学校の読書時間の回答が少なからずあり、読書タイムの効果が大きいと思われる。

6 読み聞かせの本をどのように用意していますか（幼児等の保護者へ）

本を読むときはどうしていますか（児童生徒へ）

※質問3で「読み聞かせをしていない」「本を読まない」以外の回答をした方対象（3つまで選択可能）

(%)

対象	実施回	1.買って読む	2.園（所）等で定期購読した本を読む	3.市立図書館やコミュニティセンター図書室でかりて読む	4.友だちにかりて読む	5.家にある本を読む	6.その他	7.回答なし
2歳児	今回	38.6	20.8	0.0	0.0	34.7	5.9	
	前回	34.2	16.3	10.6	0.0	32.3	5.7	0.8
5歳児	今回	34.6	15.7	15.7	0.5	27.7	5.8	
	前回	25.8	18.4	18.8	0.6	31.4	4.7	0.3
つぼみ園児	今回	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	
	前回	7.1	17.9	60.7	3.6	0.0	7.1	3.6

(%)

対象	実施回	1.買って読む	2.学校図書館でかりて読む	3.市立図書館やコミュニティセンター図書室でかりて読む	4.友だちにかりて読む	5.家にある本を読む	6.その他	7.回答なし
小学校2年生	今回	19.0	39.4	10.3	1.7	29.2	0.3	
	前回	16.4	36.2	13.0	3.5	28.7	1.2	0.9
小学校5年生	今回	25.2	32.2	9.2	8.9	23.7	0.9	
	前回	24.0	30.5	12.0	9.4	22.7	1.1	0.4
中学校2年生	今回	36.2	22.3	6.9	12.2	20.9	1.6	
	前回	35.9	20.1	6.7	17.2	18.8	1.3	0.0
高校2年生	今回	51.7	7.9	8.0	11.6	18.0	2.8	
	前回	50.4	5.5	8.2	13.5	17.7	3.8	0.9

○その他の主な回答

2歳児、5歳児	兄弟が小学校で借りてきた本 園（所）の貸出本 もらったもの 北竜台分館で読む 定期購読（こどもちゃれんじ等） アプリで読む（絵本ナビ）
小学校2年生、5年生	学童保育ルームで読む レンタルで借りて読む
中学校2年生	レンタルで借りて読む 学級文庫 インターネットで読む
中学校2年生、高校2年生	スマホアプリやインターネットで読む 電子書籍を読む

- ◆ 保護者では「買って読む」の回答が多く、前回は上回っている。
- ◆ 児童生徒では、前回に引き続き、小学生は「学校図書館で借りて読む」が、中高生は「買って読む」の回答が多かった。
- ◆ 「買って読む」が増えた背景には、前回調査実施日以降に、市内や近隣のショッピングモール等に大型書店が開業したこと、ネットショッピングで手軽に本が買えるようになった影響があると思われる。
- ◆ 市立図書館やコミュニティセンターで借りて読む割合が全体的に低くなっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、休館や開館時間短縮が多かったことが原因の一つとして考えられる。

7 読み聞かせの本をどのように選んでいますか（幼児等の保護者へ）

読む本をどのように選んでいますか（児童生徒へ）

※質問3で「読み聞かせをしていない」「本を読まない」以外の回答をした方対象（3つまで選択可能）

		(%)							
対象	実施回	1.保護者が好きな本	2.テレビなどで話題の本	3.市立図書館がすすめる本	4.友だちがすすめる本	5.園または保育所の先生がすすめる本	6.子どもが自分で選ぶ	7.その他	8.回答なし
2歳児	今回	28.4	5.5	7.3	3.7	12.8	37.6	4.6	
	前回	28.1	12.3	4.0	2.1	12.0	37.2	3.5	0.8
5歳児	今回	28.1	9.4	5.7	1.6	8.3	42.2	4.7	
	前回	27.8	8.9	5.3	1.6	7.7	45.7	2.5	0.5
つぼみ園児	今回	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	前回	28.6	16.3	4.1	4.1	10.2	34.7	2.0	0.0

(%)

対象	実施回	1.自由に好きな本を選ぶ	2.テレビなどで話題の本	3.学校図書館や市立図書館がすすめる本	4.友だちがすすめる本	5.家族がすすめる本	6.その他	7.回答なし
小学校2年生	今回	60.3	6.3	11.2	11.7	8.5	1.9	
	前回	53.6	8.1	14.2	9.7	11.1	3.0	0.3
小学校5年生	今回	50.9	9.4	8.2	17.3	10.6	3.6	
	前回	57.2	6.3	5.9	17.8	10.5	1.5	0.9
中学校2年生	今回	54.5	11.7	5.5	18.8	6.8	2.8	
	前回	53.7	13.2	3.5	20.4	5.6	3.6	0.0
高校2年生	今回	60.8	14.0	1.8	16.2	5.6	1.6	
	前回	63.2	13.2	1.5	13.5	4.7	2.7	1.1

○その他の主な回答

2歳児、5歳児	絵本ナビ※1 知育ママ※2のInstagram 子どもの好みや年齢に合っていそうな本 書店のおすすめ本や書店で興味を持った本
小学校2年生、5年生	教科書で紹介されている本 好きなイラストの本 アニメを観ておもしろいと思った本 好きな作者の本 ネットで調べた本
中学校2年生、高校2年生	SNSで話題の本 表紙のイラストが好きな本 好きなアニメ・映画・ドラマのノベライズ 賞をとった本

※1 絵本選びのアプリ

※2 自己や他社の子どもの知育をSNSで紹介している親

- ◆ 前回と同様に、子どもが主体となって自由に読みたい本を選ぶ傾向が高い。
- ◆ その他の回答に見られるように、絵本ナビやSNSなどインターネットで情報を探す傾向がある。



8 読書（読み聞かせ）をしないのはどうしてですか

※質問3で、「読み聞かせをしていない」「本を読まない」と回答をした方対象、3つまで選択可能

(%)

対象	実施回	1.読み聞かせ以外にやりたいことがある	2.読む時間がない	3.おもしろい本がない	4.何を読んだらよいかわからない	5.読み聞かせが苦手	6.子どもが読み聞かせを好きではない	7.その他	8.回答なし
2歳児	今回	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	前回	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
5歳児	今回	30.0	50.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	
	前回	17.1	48.6	2.9	5.7	14.3	0.0	5.7	5.7
つぼみ園児	今回	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	前回	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(%)

対象	実施回	1.本を読む以外にやりたいことがある	2.読む時間がない	3.つまらない	4.何を読んだらよいかわからない	5.読むのが苦手	6.その他	7.回答なし
小学校2年生	今回	52.7	21.8	7.3	7.3	10.9	0.0	
	前回	42.1	15.8	15.8	10.5	10.5	5.3	0.0
小学校5年生	今回	44.2	14.0	23.3	0.0	18.6	0.0	
	前回	27.6	10.3	27.6	10.3	17.2	6.9	0.0
中学校2年生	今回	21.3	14.9	29.8	10.6	17.0	6.4	
	前回	32.1	11.3	28.3	3.8	17.0	7.5	0.0
高校2年生	今回	34.7	38.7	8.9	4.0	12.9	0.8	
	前回	22.3	33.9	13.8	6.7	18.3	2.2	2.7

○その他回答

中学校2年生	お金がない
--------	-------

- ◆ 小学校2年生・5年生は、本を読まない理由として「本を読む以外にやりたいことがある」とする回答が一番多かった。
- ◆ 5歳児・高校2年生では、「読む時間がない」の回答が一番多い。



9 あなた自身は、読書が好きですか【幼児等の保護者】※複数選択可能
 あなたの周りに、本をよく読む人はいますか【児童生徒】 ※複数選択可能
 (%)

対象	実施回	1.好き	2.どちらかといえば好き	3.どちらかといえば好きではない	4.好きではない	5.回答なし
2歳児	今回	31.9	40.4	23.4	4.3	
	前回	27.5	40.4	22.3	3.6	6.2
5歳児	今回	27.0	32.6	33.7	6.7	
	前回	32.7	36.5	21.0	4.9	4.9
つぼみ園児	今回	33.3	66.7	0.0	0.0	
	前回	37.5	37.5	20.8	4.2	0.0

対象	実施回	1.父母	2.兄弟	3.祖父母	4.先生	5.友だち	6.いない	7.その他	8.回答なし
小学校2年生	今回	19.5	19.4	7.1	10.9	34.0	7.4	1.8	
	前回	17.5	24.5	10.1	9.6	28.2	6.3	3.2	0.7
小学校5年生	今回	13.0	18.6	7.2	6.5	49.2	4.3	1.1	
	前回	13.6	22.4	7.6	2.3	47.7	4.5	1.8	0.0
中学校2年生	今回	15.3	15.0	6.3	4.8	51.4	6.6	0.6	
	前回	14.1	16.4	6.0	9.2	48.7	4.6	1.0	0.0
高校2年生	今回	18.5	14.0	4.0	4.7	34.3	23.4	11.0	
	前回	16.3	20.0	7.6	6.4	39.8	7.7	1.9	0.4

○その他の主な回答

小学生	いところ
-----	------

- ◆ 幼児の保護者は、「好き」、「どちらかといえば好き」が「どちらかといえば好きではない」、「好きではない」の回答を上回っていて、つぼみ園においては100%である。
- ◆ 対象の全ての児童生徒で、「友だち」が一番多くなっている。
- ◆ 高校2年生の23.4%が周囲に本をよく読む人がいないと回答しているのが目立つ。



10 小さい頃、家や学校、図書館などで読み聞かせをしてもらったことがありますか
(%)

対象	実施回	1.よく読んでもらった	2.時々読んでもらった	3.読んでもらわなかった	4.おぼえていない	5.回答なし
2歳児	今回	36.2	36.2	10.6	17.0	
	前回	28.0	30.6	15.0	20.2	6.2
5歳児	今回	23.6	38.2	19.1	19.1	
	前回	17.8	39.1	11.5	27.4	4.2
つぼみ園児	今回	0.0	66.7	0.0	33.3	
	前回	33.3	37.5	4.2	25.0	0.0

(%)

対象	実施回	1.よく読んでもらった	2.時々読んでもらった	3.読んでもらわなかった	4.おぼえていない	5.回答なし
小学校2年生	今回	62.6	30.6	2.3	4.5	
	前回	60.9	33.1	1.2	2.7	2.2
小学校5年生	今回	25.6	59.7	2.1	12.7	
	前回	35.8	51.5	2.3	8.6	1.8
中学校2年生	今回	40.5	47.7	2.3	9.5	
	前回	35.6	47.7	2.6	13.2	0.9
高校2年生	今回	41.3	45.6	3.0	10.1	
	前回	40.4	42.7	3.5	13.3	0.2

- ◆ 市では、平成18年から3～4か月児健康診査時にブックスタート事業を開始し、子どもに絵本の読み聞かせをする機運を高めた。当時、ブックスタートに初めて参加した0歳児は現在高校2年生となっており、前回と比較して「よく読んでもらった」、「時々読んでもらった」の割合が増えているのは、ブックスタート事業の影響である可能性があると考えられる。

11 学校図書館を利用していますか【児童生徒のみ】

(%)

対象	実施回	1.週に3回以上利用する	2.週に1回くらい利用する	3.月に1～2回利用する	4.ほとんど利用しない	5.利用しない	6.回答なし
小学校2年生	今回	46.0	37.0	7.4	4.7	4.9	
	前回	54.6	28.5	7.6	3.2	3.7	2.4
小学校5年生	今回	12.7	35.8	26.5	18.6	6.4	
	前回	19.9	37.8	24.2	13.8	2.8	1.5
中学校2年生	今回	2.3	15.9	25.8	36.0	19.9	
	前回	12.6	23.1	23.9	23.9	15.0	1.5
高校2年生	今回	1.1	2.2	4.9	32.2	59.6	
	前回	1.0	2.9	3.8	19.6	72.1	0.6

- ◆ 全体的に、前回より「ほとんど利用しない」、「利用しない」の回答が増えている。

12 市立図書館やコミュニティセンター図書室を利用していますか

(%)

対象	実施回	1.月に4回以上	2.月に1～3回	3.ほとんど利用しない	4.利用しない	5.回答なし
2歳児	今回	4.3	21.3	40.4	34.0	
	前回	0.0	17.1	37.3	43.0	2.6
5歳児	今回	3.4	29.2	31.5	36.0	
	前回	1.5	30.4	33.3	30.6	4.2
つぼみ園児	今回	0.0	33.3	33.3	33.3	
	前回	4.2	8.3	41.7	45.8	0.0
小学校2年生	今回	14.2	15.6	14.6	55.6	
	前回	26.0	16.2	12.8	42.8	2.2
小学校5年生	今回	4.2	18.6	40.9	36.4	
	前回	7.0	30.9	36.8	23.7	1.5
中学校2年生	今回	0.7	10.6	39.1	49.6	
	前回	2.0	12.5	40.5	44.3	0.8
高校2年生	今回	1.4	10.1	30.9	57.7	
	前回	2.5	10.6	29.6	56.9	0.4

- ◆ 児童生徒は、前回と比較して市立図書館やコミュニティセンター図書室の利用が少なくなっている。
- ◆ 全体的にみると、図書館がよく利用されているとは言えないが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のために貸出期間が4週間となっているにも関わらず、2歳児保護者の4.3%、小学校2年生の14.2%が月に4回以上図書館を訪れている。

13 市立図書館やコミュニティセンター図書室を利用しない理由はなんですか

【幼児等の保護者のみ】

(%)

対象	実施回	1.場所がわからない	2.市立図書館への交通の便が悪い	3.施設が不便	4.利用したい本がない	5.他の利用者に気兼ねする	6.利用する必要を感じない	7.利用の仕方がわからない	8.その他	9.回答なし
2歳児	今回	2.9	2.9	2.9	2.9	11.8	26.5	8.8	41.2	
	前回	4.8	8.1	1.6	1.1	25.8	10.8	10.2	34.9	2.7
5歳児	今回	1.8	10.7	5.4	1.8	16.1	21.4	5.4	37.5	
	前回	4.9	9.8	2.2	1.6	18.7	16.8	7.3	30.6	8.1
つぼみ園児	今回	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
	前回	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その他の主な回答

2歳児・5歳児	時間がない 新型コロナウイルス感染が心配（外出すること、本からの感染等） 利用し難い（職員の対応、本を選び難い等）
---------	---

- ◆ 図書館やコミュニティセンター図書室を利用しない理由として、新型コロナウイルス感染症を懸念するなど「その他」の回答が最も多かったが、「利用する必要を感じない」の回答が前回は上回って多くなっていることは、今後の課題である。また、つばみ園で「他の利用者に気兼ねする」という回答があったことも対応を要する。

14 市立図書館のYA（ヤングアダルト）コーナーを知っていますか【生徒のみ】

(%)

対象	実施回	1.知っている	2.知らない	3. 回答なし
中学校 2年生	今回	7.0	93.0	
	前回	10.1	89.3	0.6
高校 2年生	今回	11.2	88.8	
	前回	8.3	91.5	0.2

- ◆ 「知っている」と回答した高校2年生は前回よりも増えたが、依然としてYAコーナーの知名度は低い。

15 小学生の時と比べて、あなたが本を読む状況は変わりましたか【生徒のみ】

(%)

対象	実施回	1.本を読むことが多くなった	2.変わらない	3.本を読むことが少なくなった	4.わからない	5.回答なし
中学校 2年生	今回	34.9	27.2	30.5	7.3	
	前回	40.5	30.3	19.1	9.3	0.8
高校 2年生	今回	12.0	20.2	54.9	12.8	
	前回	16.2	19.2	52.3	11.7	0.6

- ◆ 全体的には、小学生より本を読むことが少なくなった生徒の割合が高く、前回と比較して増加している。

16 電子図書を読んでいますか【生徒のみ】

(%)

対象	実施回	1.よく読んでいる	2.たまに読んでいる	3. 読んでいない	4. 回答なし
中学校2年生	今回	15.9	27.2	56.8	
	前回	14.3	24.3	60.8	0.6
高校2年生	今回	17.5	35.0	47.5	
	前回	10.2	30.8	58.7	0.4

- ◆ 電子図書を読んでいると回答した生徒は、前回より増えていて全体の5割程度である。
- ◆ 設問6番「本を読むときはどうしていますか」における「その他」の回答で、「スマホやインターネットで読む」という回答が目立っていて、問16の結果と合わせ、今後、電子図書の利用が多くなることが予想される。



17 流通経済大学龍ヶ崎キャンパスには大学図書館がありますが、利用したいと思いますか (%)

対象	実施回	1.利用したい	2.利用したくない	3. わからない	3. 回答なし
中学校2年生	今回	18.5	12.7	68.8	
	前回	21.6	9.6	68.3	0.5
高校2年生	今回	10.7	20.5	68.9	
	前回	11.2	21.0	67.7	0.2

- ◆ 現在、利用は有料であるが、当市立図書館や学校図書館には所蔵がない専門書等の閲覧や貸出が可能である。「わからない」と回答した生徒が7割近くにのぼるのは、流通経済大学図書館の認知度が低く、あえて大学図書館を利用する理由・目的を見出しづらい可能性がある。

18 図書館や読書について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。 【高校2年生のみ】

○主な意見

- ・勉強が忙しくて、好きだった読書の習慣がなくなってしまった
- ・今は勉強の時間が必要なので、大学生になったらたくさん本を読みたい
- ・図書館にライトノベルをおいてほしい
- ・小学生の時に図書館でよく折り紙教室などのイベントに参加していた。高校生や大人でも参加出来るイベントがあると楽しいと思う
- ・様々なキャンペーンをしてみると利用者が増えると思う
- ・中央図書館の外観をもう少しきれいにしてほしい
- ・部活が忙しいが、時間を作って読書をしたい

2 龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例

平成26年3月28日
条例第21号

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号。以下「法」という。)第9条第2項の規定に基づき、龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(以下「計画」という。)を策定し、及び継続的かつ総合的に推進するため、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 計画の策定に関する事項
- (2) 計画の進行管理に関する事項
- (3) 計画に基づく取組の評価及び検証に関する事項
- (4) その他法第2条に規定する子どもの読書活動の推進に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募の市民(龍ヶ崎市まちづくり基本条例(平成26年龍ヶ崎市条例第58号)第3条第1号に規定する市民(法人その他の団体を除く。))をいう。)
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 特定の職により委嘱され、又は任命された委員は、任期満了前において当該職を失ったときは、委員の職を失うものとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集する。ただし、委員長及び副委員長が選出されていないときは、教育長が行う。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4 委員長は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

付 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

3 子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第四次）

令和5年 月

発行 龍ヶ崎市教育委員会
